

ジェンミ新聞

多様な人材が
活躍する職場

シニアの活躍が人材確保の鍵

実質的な定年の廃止！

挑戦している。

人手不足への対応

正社員雇用制度導入後の利用者の平均年齢は42歳で50代以上は30%。高齢者雇用は、少子高齢社会において、今後さらに必要となってくる。と講師は話した。



▲榊トリドールホールディングス古川雅代氏とメンバー

改正 高年齢者雇用安定法

令和3年4月に施行された改正高年齢者雇用安定法。高年齢者が活躍できる環境の整備を目的とし、65歳までの雇用確保の義務や、70歳までの就業確保として、次の①～⑤のいずれかの措置を講じる努力義務を定めている。

- ①定年の引上げ
- ②定年制の廃止
- ③継続雇用制度の導入
- ④継続的な業務委託契約締結制度導入
- ⑤継続的な社会貢献事業従事制度導入

※②以外、すべて70歳まで

これまで、65歳までの雇用確保措置を段階的に進める経過措置が認められていたが、来年3月に終了。

企業においては、制度を検討し、個々の高年齢者の希望を尊重した対応が求められる。

令和6年7月25日(木)に、第7回となるジェンミを開催。第一部は丸亀製麺などを運営する(株)トリドールホールディングスのハピネスカルチャー推進部長古川雅代氏による「高齢者雇用とダイバーシティ経営について」の講座をジェンミメンバー16人が受講した。

真のグローバルフードカンパニーを目指し、高齢者雇用に取り組むトリドールホールディングス。定年を65歳から70歳へ引き上げ、さらに再雇用制度の年齢上限を撤廃。改正高年齢者雇用安定法の中でも難しいと言われている定年の廃止を実現させた。

人材定着のための工夫

全体の約95%を占めるアルバイト・パートスタッフ。意欲があれば管理職となることが可能となるよう正社員登用の間口を拡大した。さらに、キャリアパスの明示や飲食業界ならではの職人制度など、誇りが持てる職場づくりに積極的に

第二部では、ジェンミメンバーの他、シルバー人材センター、苫小牧公共職業安定所、工業・雇用振興課も対話し、一人ひとり行動宣言を発表

【その他】
・就労を希望する高齢者の方々に寄り添いお仕事を提案させていただきます。
・高齢者がやりがいを持って働き続けていただけるようニーズを傾聴し、求職者の方を支援します。
・まずは任せて見守ります。

麺職人ってなんだろう？

麺職人とは一つ星

安定し、さらに従業員の仕事やモチベーション向上にも繋



▲丸亀製麺の麺職人

から5つまでの位の麺があるプロの麺の品質が向上。がつている。

高齢者雇用の促進 それぞれの想い



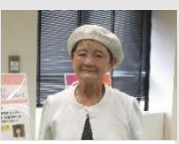
自分の出来ること探しができるよう高齢者を大事にする職場にしたいです



モチベーション向上につながる職場環境のアイデアを考えます



高齢者が誇りとやりがいを持って働ける制度や施策を検討していきます



定年制度の改善を強く求めます



会社も本人も元気でいることが雇用につながると思っています



地域での交流推進に取り組み、声を聞きます



社内の健康増進と一人ひとりが楽しめる環境を整えます



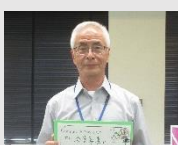
働きやすい制度を設計し働く人を支え続けます



社内の定年引上げを検討します



役割見直しをします



会員募集に尽力します



元気に働いている方を大事に見守っていきます



当社の定年制度を見直します

編集後記

講師を務めていた古川氏の話の中で、「ハピカン経営」が印象に残った。まず従業員が「ハピネス」であること。そうあることで、お客様に「感動」を与え、繁盛につながる。逆を言えば、従業員がハピネスでなければ、他人に感動は与えられないということ。ダイバーシティを推進することで、ピッチもチャンスに変えられる。力強い言葉を送りたい。頑張ろう。

「C」